

平成30年度

熊本駅前看護リハビリテーション学院
学校関係者評価報告書

平成30年度 学校関係者評価報告書

1 はじめに

学校法人青照学舎が運営する熊本駅前看護リハビリテーション学院の学校関係者評価委員会は、学校評価に関する関連法令に基づき、平成30年度の自己評価報告を基本とした学校関係者評価を実施いたしましたので、ここにご報告します。

学校関係者評価は、学校自らが選任した教育関係者、業界関係者、卒業生、保護者等の学校関係者が、学校自らが実施した「自己評価」の結果について評価することを基本として行う評価で、ホームページ等に公表いたします。

本校といたしましては、学校関係者評価の結果を踏まえ、今後も学校関係者と連携・協力し、学校運営の改善・強化、教育の質の向上、教職員の資質・能力の向上を図って参ります。

2 学校関係者評価について

(1) 目的

学校関係者評価は、自己評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高め、また、生徒・卒業生、関係業界、職能団体、高等学校、保護者・地域住民など、専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善等を図ること等を目的とします。

(2) 評価のポイント

- ① 自己評価結果の内容が適切か。
- ② 自己評価結果を踏まえた今後の改善方策は適切か。
- ③ 学校の重点目標や自己評価項目等が適切か。
- ④ 学校運営の改善に向けた実際の取組が適切か。

(3) 評価期間

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(4) 評価結果の公表

- ① 評価結果や今後の改善方策等を取りまとめ公表します。
- ② 評価結果は、次年度の学校運営や教育活動等について具体的に改善を図ります。

3 学校関係者評価委員会について

(1) 活動内容

- ① 自己評価結果の評価
- ② 学校関係者評価委員会の開催

- ③ 改善意見、助言
- ④ 施設等の確認

(2) 学校関係者評価委員会の委員、事務局

① 学校関係者評価委員 8名

委員氏名	所属名	役職名
山口 里美	公益社団法人 熊本県理学療法士協会	理事
牛島 由紀雄	一般社団法人 熊本県作業療法士会	副会長
松村 光一	医療法人 桜十字 桜十字病院 リハビリテーション部	部長
田尻 威雅	医療法人 富尾会 桜が丘病院 作業療法室	室長
藤丸 由美子	独立行政法人 国立病院機構 熊本再春医療センター	看護部長
中村 洋介	熊本県立熊本農業高等学校	副校長
緒方 陽一郎	熊本駅前看護リハビリテーション学院後援会	会長
池田 健志郎	熊本駅前看護リハビリテーション学院同窓会	会長

② 学校関係者評価事務局（教職員） 9名

氏名	所属名	役職名
高野 茂	熊本駅前看護リハビリテーション学院	学校長
黒川 一也	熊本駅前看護リハビリテーション学院	副学校長
杉本 弥	熊本駅前看護リハビリテーション学院	教頭
白石 正行	熊本駅前看護リハビリテーション学院	事務顧問
赤星 光輝	熊本駅前看護リハビリテーション学院	事務長
吉岡 薫	熊本駅前看護リハビリテーション学院	看護学科教務部長
有働 正二郎	熊本駅前看護リハビリテーション学院	教務部長代理
松本 泉	熊本駅前看護リハビリテーション学院	理学療法学科長
小野 厚美	熊本駅前看護リハビリテーション学院	作業療法学科長

(3) 評価項目

- 基準1 教育理念・目的・育成人材像
- 基準2 学校運営
- 基準3 教育活動
- 基準4 学修成果
- 基準5 生徒支援
- 基準6 教育環境
- 基準7 生徒の募集と受入れ
- 基準8 財務
- 基準9 法令等の遵守
- 基準10 社会貢献・地域貢献

(4) 学校関係者評価委員会の開催状況

- ① 日時 : 令和元年12月18日(水) 13:00~15:00
- ② 場所 : 熊本県熊本市西区春日2丁目1-15
熊本駅前看護リハビリテーション学院
リハ棟3階会議室
- ③ 出席者 : 学校関係者評価委員 8名
学校関係者評価事務局 9名
- ④ 議題・内容 : 開会、事務局より挨拶
委員及び事務局職員紹介
職業実践専門課程に関する説明
学校概要説明(各学科別)
平成30年度自己評価結果についての説明
質疑・意見交換、閉会

4 自己評価結果に対する学校関係者評価、委員の意見

(1) 自己評価結果に対する学校関係者評価委員の評価、意見等を実施状況に照らし、以下の5段階で記載した。

- ・適切(実施)
- ・ほぼ適切(概ね実施)
- ・普通(問題や課題はあるが一通り実施)
- ・やや不適切(少し実施)
- ・不適切(実施していない)

(2) 委員の意見

学校関係者評価委員会での意見を各項目毎（基準毎）にまとめた。

5 評価項目毎の状況

評価項目の基準1～基準10までの状況は次のとおりです。

基準1 教育理念・目標・育成人材像	評価	適切
-------------------	----	----

【委員の意見】

- ・特に意見なし

基準2 学校運営	評価	ほぼ適切
----------	----	------

【委員の意見】

- ・人事、給与制度については、職員に対してと周知を図っているか。
→教職員の入職時にきちんと説明しているが、就業規則の見直しを行っており、改正後に更に周知を図っていく。

基準3 教育活動	評価	適切
----------	----	----

【委員の意見】

- ・教員が学会等に参加する際の経費支出はどのようになっているか。
→教員が学会等で発表などを行う際は、学校負担としている。なお、自己研鑽等の場合は、自己負担となる。

基準4 学修成果	評価	適切
----------	----	----

【委員の意見】

- ・特に意見なし。

基準5 生徒支援	評価	ほぼ適切
----------	----	------

【委員の意見】

- ・同窓会の活動の中で、勉強会を開催しているが、その際学校を開放してほしい。
また、会場使用料を安価にしてほしい。
→会場使用料については、見直しを行っており、積極的に使用していただきたい。

- ・LGBTについては、どのように対応しているか。
→過去に同様の事例があり、教職員全員で情報を共有して対応したことがある。

基準6 教育環境	評価	適切
----------	----	----

【委員の意見】

- ・特に意見なし。

基準7 生徒の募集と受入れ	評価	ほぼ適切
---------------	----	------

【委員の意見】

- ・生徒の学校での情報が、出身高等学校にしっかりと提供されており、非常にありがたい。
- ・志願者が減少している中、リハビリ職に関する周囲の情報を生徒から集めてはどうか。
- ・就職率を100%にすることが広報活動に繋がると思われるため、最終学年以外の生徒に対して就職の意識付けを図る必要があるのではないか。

基準8 財務	評価	適切
--------	----	----

【委員の意見】

- ・特に意見なし。

基準9 法令等の遵守	評価	適切
------------	----	----

【委員の意見】

- ・特に意見なし。

基準10 社会貢献・地域貢献	評価	適切
----------------	----	----

【委員の意見】

- ・ボランティア活動が広報活動につながると思われるため、広報戦略に活かしてほしい。
- ・作業療法士会等の全国会議が、熊本県で開催される場合に学校の会場を使用してほしい。
→使用されたい場合は、相談していただきたい。

6 総括

学校関係者評価を通して、本校の教育活動全般における課題点が明確化したことを受け大変有意義な活動であったと考えています。

各評価基準とも、適切または概ね適切であるという評価結果となりましたが、評価委員からのより良い学校を作っていく為の意見や提案は、今後の課題の解決や円滑な学校運営にとって大変貴重なものでした。

今回の学校関係者評価委員会での各委員のご意見を教職員全体で情報を共有し、より良い教育機関となるよう努力していくことといたします。

以上